

GeoGebra インストールの手引き

公開講座用
(2014年7月22日版)

統計数理研究所

GeoGebra は Windows、MacOS、Linux、FreeBSD など多くのシステム上で動かすことができます。現時点での最新版は 4.4.40 ですが、ここでは主として Windows 上に 4.4.40 ポータブル版をインストールして動かす方法を説明します。

1.Windows への GeoGebra ポータブル版のインストール

以下では、Windows 7 上で Internet Explorer 11 を使った場合の手順を示します。他の状況では多少の違いが出る場合がありますが、ほぼ同じようにできます。

まず GeoGebra の公式ウェブサイト
(<http://www.geogebra.org>)を開き(図 1)、

ダウンロード

を左クリックします(→図 2)。



図 1

ポータブル

を左クリックします(→図 3)。



図 2

Windows

を左クリックします(→図 4)。



図 3

保存(S)

を左クリックします。

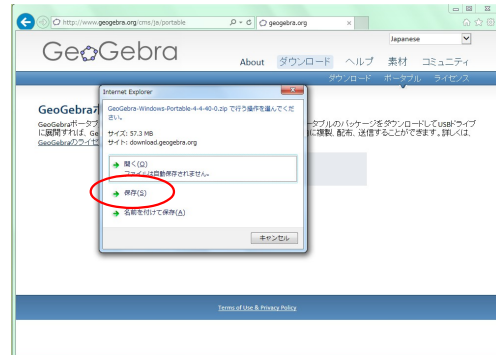


図4

窓の下にダウンロードの開始を告げる枠が現れ、暫くすると「...のダウンロードが完了しました」という表示に変わります(数分かかる場合もあります)。そこで

フォルダーを開く(P)

を左クリックします。



図5

GeoGebra-Windows-Portable-.....zip

を右クリックします。

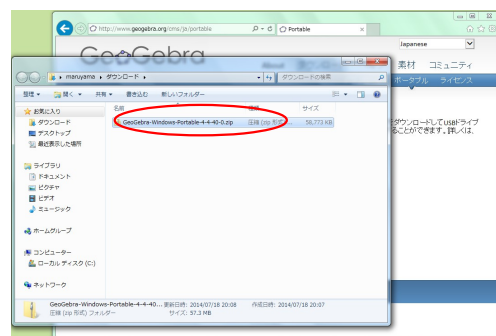


図6

GeoGebra.exe

を右クリックします。

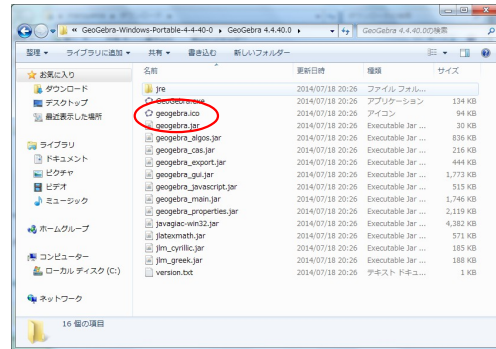


図10

プルダウンメニューが現れますので、

ショートカットの作成(S)

を左クリックします。(→図12)

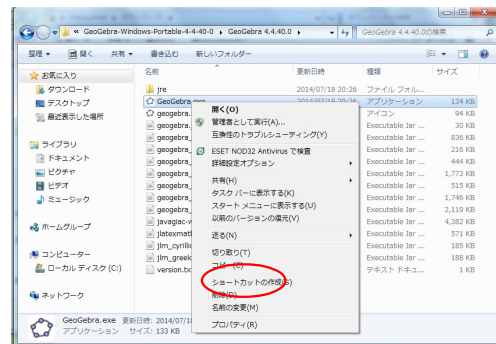


図11

GeoGebra.exe – ショートカット

ができますので、これをデスクトップ上に移動します(左ボタンを押しながらデスクトップヘドラッグするか、あるいは一度右クリックでプルダウンメニューを表示しておいて

切り取り(T)

を行ってから、デスクトップ上にカーソルを移動して右クリックで

貼り付ける(P)

を選びます)。

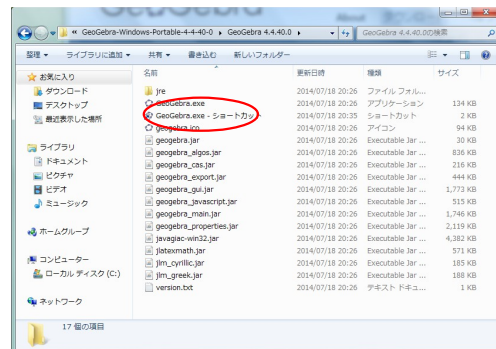


図12

デスクトップ上に

GeoGebra.exe – ショートカット

というアイコンができれば、インストール作業は完了です。これ以後は(パソコンを再起動した後でも)デスクトップ上のこのアイコンを左ダブルクリックすれば(→図 14)、

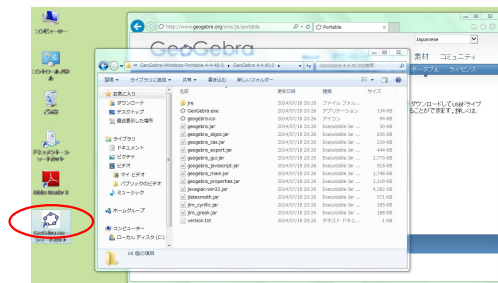


図13

セキュリティの警告画面が現れますが、心配は要りません。

実行(R)

を左クリックすれば GeoGebra が起動します(→図 15)。



図14

GeoGebra 起動初期画面です。

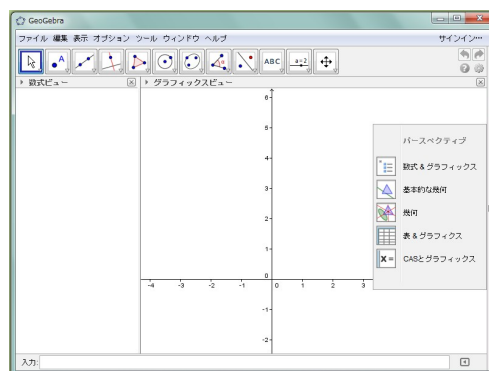


図15

2. ポータブル版をインストール済みの Windows が手近にある場合

1 の手順を全部繰り返す必要はありません。手近にあるパソコンから図9でできた展開済みのフォルダーをコピーして、図10以降を行うことで代用できます。

3. Windows への他のインストール方法

GeoGebra の公式サイトダウンロードページには、ポータブル版の他にもう一つ Windows へインストールできるものが置いてありますが、実際に試してみるとインストール不成功に終わることが多く、お奨めできません。ポータブル版とは、基礎となる Java も同梱している版で、それに対してもう一方の版は PC 上に別途 Java がインストールされていることを前提としている版です。Java のインストール状況が関係するため、成功が難しくなっているようです。

なお、以前あった Java Webstart 版は廃止されました。

4. 他の OS の場合

MAC OS X と Linux についてはやはりポータブル版があります。さほどの困難なくインストールできるはずです。

FreeBSD(PCBSD)用は公式には配布されていませんが、Linux 用ポータブル版を PCBSD9.1 と PCBSD9.2 で試してみたところ、`geogebra-portable` を 2 行、`geogebra/geogebra` を 12 行ほど書き換えることで動きました。困難ではありませんが、UNIX に関する多少の知識が必要です。

(以上)